



細川 美森様

Mimori Hosokawa



私は2019年高校1年生の夏にカナダに来て今年で2年目になります。日本では中学生になった頃からほぼ毎日レッスンに行って夜遅くまで自習した後、家に帰って眠さと戦いながら学校の宿題をこなす日々を過ごしていました。今思うと睡眠時間も十分に取れず常に忙しくて、身体に相当負担をかけていたと思います。高校の進路を考え始めた頃から本格的に海外でバレエを学びたいと思うようになりました。海外の先生に見ていただけるチャンスだと思い、いろいろなコンクールに参加しましたが、良い結果は得られませんでした。そんな時にアドミッション留学センターのビクトリアアカデミーオブバレエ(VAB)のオーディションを見つけました。Summer Intensiveだけでも参加できたらいいなと思い受けてみました。日本の高校合格と同時にVABの入学許可をいただき1年生の1学期だけ高校に通い7月のSummer intensiveからVABに来ました。私が思うVABの1番の魅力は素晴らしい先生方だと思

います。どの先生も教えがプロフェッショナルで、何が正しいのか、どう筋肉を使うのか、直すために何をすれば良いのかを細かく教えて下さいます。特にチケッティのシラバスクラスではシンプルだからこそズルできない基礎の部分丁寧に教えてくださり、同じ動きを何度も何度も練習します。VABに来てから日本にいたときは「正しい」動きを理解していなかったことに気がつきました。日々意識すればするほど変わっていく身体のラインを見て、目指すべきところを頭で理解してそれを体で表現できるように練習していくのが楽しくなりました。そして自分の体と向き合ってトレーニングしていくクラスレッスンが大好きになりました。生徒みんなが仲が良いのもVABの大きな特徴だと思います。ソロのバリエーションの練習もありますが、それと同じくらいグループの作品も練習します。全員が同じやる気の一つの作品に取り組める時間は本当に充実しています。自然と呼吸するタイミングを合わせるようになり、空き時間で音をかけて復習したり、自分たちが作品を良くしていくんだという責任感を持って取り組んでいるように思います。そのおかげでみんなと仲良くなれるし、それぞれがソロを踊るときもお互いに感想を言いあって、知らないうちに刺

激しい高め合っています。高校との両立が大変で忙しいときもあります。日本での慌ただしい生活を思うと今は踊ることを中心に生活できているので留学してよかったなあと思っています。日本にいたときは両親に頼りっぱなしだったことも、こちらでは生活に余裕ができて自分で責任を持ってやるようになりました。一人でじっくり考えたり振り返ったりする時間を作ることができて本当に充実した日々を過ごしています。私は6月にカナダの高校を卒業して、9月からはVABのBridge Programに進む予定です。Bridgeに入れば朝から一日中踊る生活ができるようになります。想像するだけでワクワクしますが、それは将来進んでいく道を決める時間でもあります。先輩方が就職に向けて少しずつ着実に準備している姿を間近で見、自分の中で漠然としていた夢を現実的に考えるようになりました。これからも信頼できる素敵な先生方や仲間に関化されながら、将来に向けてしっかり準備していきたいと思っています。

